

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24007報)

2022年 9月 19日 7時 35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日7時07分、免震重要棟北側付近にて油が漏えいしていることを協力企業作業員から連絡を受けました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡時刻 7時07分</li> <li>・発生場所 発電所構内 免震重要棟北側付近</li> <li>・発見者 協力企業作業員</li> <li>・漏えい範囲 約20m×1m</li> <li>・漏えい継続の有無 確認中</li> <li>・双葉消防本部への連絡時刻 7時10分</li> </ul> <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24008報)

2022年 9月 19日 8時01分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日7時35分頃、陸側遮水壁ブライン供給ポンプが全台停止していることを当社社員が発見しました。なお、プラントパラメータ、モニタリングポストの指示値に異常はありません。</p> <p>現在、状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24009報)

2022年 9月19日 10時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第24007報にてお知らせした、免震重要棟北側付近の油の漏えいについてその後の状況をお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏えい箇所 免震重要棟北側付近駐車中の車両下部</li> <li>・漏えい範囲 約1m×1.5m(当社社員現場確認の結果)</li> <li>・拡大防止処置 付近への漏えい拡大及び側溝への漏えいがないことを確認した 付近に火気がないことを確認した</li> <li>・漏えい継続の有無 なし</li> </ul> <p>本事象については、当該エリア付近の車両から油の漏えいがないことを確認したことから、油の漏えい事象ではないと判断し、宮岡消防署にも確認していただいております。 なお、油の漏えいのようなものについては鉄バクテリアが原因と推定されます。</p> <p>【公表区分：その他】 油漏れ事象ではないと判断したことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24010報)

2022年 9月 19日 13時 00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 大野 公輔  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第24008報でお知らせした、陸側遮水壁ブライン供給ポンプ停止についてその後の状況をお知らせします。</p> <p>陸側遮水壁ブライン供給ポンプが停止した原因は、構内配電線の影響によるM/C1B母線電圧の一時的な低下であることを確認しました。 その後、陸側遮水壁の電源設備、設備本体に異常がないことを確認したことから、12時20分にブライン供給ポンプを起動し、陸側遮水壁設備の運転を再開しました。</p> <p>なお、陸側遮水壁設備の停止期間は数時間程度であるため、陸側遮水壁の凍結状況に問題はありません。</p> <p>【公表区分：C続】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24011報)

2022年 9月19日 14時39分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 大野 公輔  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [9月19日11時00分現在]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 9月18日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 9月18日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 9月8日 9月18日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、9月20日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 9月15日]</li> </ul> <p>【公表区分: その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年9月19日 11:00現在

【留意事項】  
 各計測値については、精度やその他の事後処理の影響を受けて、通常の使用用途を越えているものもあり、正しく表示されていない可能性のある計測値も存在している。  
 プラントの異常を記憶するために、このような計測値の欠損が必ず考慮し、最終の計測値から得られる情報を参照して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.4 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h	給水系: 0.0 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h	給水系: 0.0 m <sup>3</sup> /h CS系: 3.1 m <sup>3</sup> /h	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69H1): 28.2 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 27.1 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 27.7 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 36.0 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 38.0 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 32.8 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 32.6 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 27.7 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 27.6 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 36.5 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HMH2-16B (TE-16-114G#1): 36.2 °C	PCV温度 (TE-16-002): 30.5 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 32.0 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.27 kPa.g	3.90 kPa.g	0.45 kPa.g	
空葉封入流量 ※3	RPV (RV/H-A): - Nm <sup>3</sup> /h (RV/H-B): 15.20 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 14.69 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 6.44 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 6.39 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 8.05 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 7.92 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.3 m <sup>3</sup> /h	13.71 Nm <sup>3</sup> /h	20.12 Nm <sup>3</sup> /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: - vol% B系: 0.03 vol% ※6	A系: 0.08 vol% B系: 0.08 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.55E-04 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 4.46E-04 B系: 指示値 5.98E-04 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.88E-04	A系: 指示値 - Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 - ※6 B系: 指示値 ND Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	32.1 °C	31.7 °C	※5	※5
FPC 入射ノック 水径	3.56 m	4.07 m	m	66.8 X100mm ※6

出典: 福島第一原子力発電所プラントのモニタリングシステムから取得する。 (注) 本表は、計測装置の故障や、計測装置の誤動作により、計測値が正確に表示されない場合があります。  
 ※1: 原子炉格納容器内の水素濃度は、原子炉格納容器内の水素濃度を測定する。  
 ※2: 原子炉格納容器内の放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を測定する。  
 ※3: 空葉封入流量は、原子炉格納容器内の空葉封入流量を測定する。  
 ※4: 空葉封入流量は、原子炉格納容器内の空葉封入流量を測定する。  
 ※5: 本表に示した計測値は、計測装置の故障や、計測装置の誤動作により、計測値が正確に表示されない場合があります。

3/7

2022年9月19日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/09/18 07:45	< 4.7E+00	< 5.1E+00	< 5.4E+00
プロセス主建屋北東	2022/09/18 07:20	< 4.9E+00	< 3.6E+00	< 4.2E+00
プロセス主建屋南東	2022/09/18 07:15	< 4.1E+00	< 4.2E+00	< 5.1E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/09/18 07:35	< 4.3E+00	< 4.8E+00	< 4.4E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/09/18 07:40	< 5.0E+00	< 5.2E+00	3.5E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/09/18 07:30	< 4.2E+00	< 3.7E+00	< 3.5E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/09/18 07:25	< 4.6E+00	< 5.0E+00	< 4.2E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/7

2022年9月19日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

### 構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/09/18 07:55	5.5E+00	< 7.2E-01	4.3E+00
物揚場排水路	2022/09/18 07:50	4.6E+00	< 8.5E-01	1.0E+00
K排水路	2022/09/18 06:00	6.9E+00	< 5.8E-01	3.8E+00
BC排水路	2022/09/18 06:00	< 2.8E+00	< 7.2E-01	< 8.0E-01
D排水路	2022/09/18 07:40	< 2.8E+00	< 6.2E-01	< 7.4E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・核種の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E+0とは、 $0.0 \times 10^0$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

・採取当日の降雨量は2 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/7

2022年9月19日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 海水分析結果&lt;港湾内, 放水口付近&gt; (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/09/18 08:10	—	< 6.4E-01	< 7.9E-01
1F 6号機取水口前	2022/09/18 08:02	< 1.1E+01	< 2.8E-01	< 3.3E-01
1F 物揚場前	2022/09/18 07:45	1.6E+01	< 3.2E-01	< 3.1E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/09/18 07:40	< 1.1E+01	< 2.5E-01	1.2E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2022/09/18 07:35	1.3E+01	< 2.8E-01	4.4E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/09/18 09:20	8.4E+00	< 6.1E-01	< 6.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/09/18 06:48	< 1.2E+01	< 2.5E-01	6.5E-01
1F 港湾中央	2022/09/18 06:44	< 1.2E+01	< 3.2E-01	7.1E-01
1F 港湾内東側	2022/09/18 06:46	< 1.2E+01	< 2.9E-01	8.3E-01
1F 港湾内西側	2022/09/18 06:42	1.3E+01	< 3.3E-01	6.7E-01
1F 港湾内北側	2022/09/18 06:40	< 1.2E+01	< 2.6E-01	3.8E-01
1F 港湾内南側	2022/09/18 06:50	< 1.2E+01	< 3.2E-01	< 2.7E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは, 〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける, Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

6/7

2022年9月19日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進センター

海水分析結果<港湾内、放水口付近> (全β・H-3・Sr・Y)

試料名称	採取日時	分析項目					
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/08/08 08:05	1.2E+01	1.0E+00	—	< 7.2E-01	< 6.3E-01	
1F 物陰側前	2022/08/08 07:28	< 1.2E+01	4.9E+00	5.2E-02	< 3.0E-01	5.8E-01	
1F 1~4号機取水口内北側 (東浜修設北側)	2022/08/08 07:25	< 1.2E+01	5.2E+00	< 1.3E-01	< 3.3E-01	1.2E+00	
1F 1~4号機取水口内南側 (遠水壁前)	2022/08/08 07:20	1.8E+01	5.0E+01	3.3E+00	< 3.7E-01	7.2E+00	
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/08/08 09:15	9.9E+00	< 3.3E-01	—	< 6.8E-01	< 7.8E-01	
1F 港湾口 (T-0)	2022/08/08 06:30	< 1.3E+01	1.0E+00	1.2E-02	< 2.8E-01	< 3.7E-01	
1F 港湾中央	2022/08/08 06:24	< 1.3E+01	4.3E+00	< 1.2E-01	< 3.1E-01	4.3E-01	
1F 港湾内北側	2022/08/08 06:20	< 1.5E+01	2.8E+00	3.6E-02	< 2.9E-01	5.2E-01	
WHOの飲料水ガイドライン*1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01	

\* 核種の半減期：H-3(約12年)、Sr-90(約29年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

\* 不符号 (<)：小符号)は、検出限界未満(ND)を示す。

\* 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

\* O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31、 $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1、 $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

\* 物陰側前、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

\* Sr-90は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水ガイドラインにおける、H-3、Sr-90、Cs-134、Cs-137の指標

\* 分析結果の評價については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※ 試料採取作業の安全確保ができていないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年9月19日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m <sup>3</sup> )	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 Y核種
一時貯水タンク (サンプルタンク)	E 2022/09/15 08:27	660	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 2.0E+00	9.7E+02	< 4.4E-01	< 7.3E-01	検出なし
				< 3.4E-01	1.0E+03	< 6.4E-01	< 6.4E-01	検出なし
	運用目標			3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
	告示濃度限度※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
	WHO飲料水水质ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

7/7

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第24012報)

2022年 9月19日 23時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 大野 公輔  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第24004報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 18時13分</li> <li>・排水終了 : 22時23分</li> <li>・排水量 : 618m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

※添付の有(無)  無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。